

すぐに役立つアイデア・実践がいっぱい！



第1回

ケアの工夫学会

開催概要

2014年

とき 3月2日(日) 10:00~16:00

ところ まなびの館ローズコム
(広島県福山市霞町 1-10-1)

参加費

一般参加 (FAX・TEL 申込)	6,000円
一般参加 (WEB 申込)	5,000円
演題発表者 ポスター発表者 展示者	3,500円

目的

介護現場ではどこもさまざまな工夫をしています。

「小さいけれど役立つ！」そんな工夫をお互い発表し合い、教えあって、明日からの自分たちのケアに生かしあう。それが「ケアの工夫学会」の目的です。



どんどん現場での実践を出し合って介護を活性化させよう！
新しいケアの発見で利用者へのアプローチが大きく変わる！

当日のプログラム

※参加者は自由に聴講いただけます

	大会議室	中会議室	小会議室①・②	小会議室③
10:00	講演① 認知症の方を取り巻く 物理的環境の工夫 講師: 神尾 功雄氏 末永 啓氏	演題発表 ケアの工夫最前線① 第1部	ポスター発表 ケアの工夫最前線② ～施設・事業所運営・現場ケアの工夫～ 第1部	実技分科会A 小集団体操指導の工夫 講師: 高見 博子氏
11:40	休憩			
12:30	講演② 利用者が元気になる ための環境の工夫 ～元気になるための条件とは～ 講師: 山下 総司氏	演題発表 ケアの工夫最前線① 第2部	ポスター発表 ケアの工夫最前線② ～施設・事業所運営・現場ケアの工夫～ 第2部	実技分科会B 現場ケア技術向上の工夫 ～朝の「体感教室」の実践とスタッフ育成～ 講師: 稲岡 錠二氏
14:10	休憩			
14:20	講演③ 車イスの活用と ケアの視点 ～知って得するアプローチのポイント～ 講師: 押川 武志氏	演題発表 ケアの工夫最前線① 第3部	ポスター発表 ケアの工夫最前線② ～施設・事業所運営・現場ケアの工夫～ 第3部	実技分科会C 機能訓練指導の工夫 講師: 野田 和美氏
16:00				

学会の詳細は次ページ以降をご覧ください！



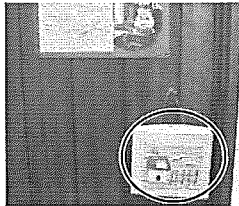
GO!

発表者・展示物を大募集!!

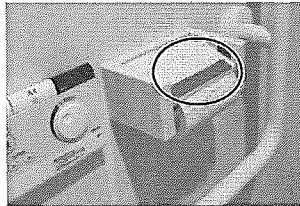
あなたの施設・事業所で行っているちょっとした工夫・キラリと光るアイデアの発表を幅広く募集しています。発表が苦手な人は展示だけでもOKです! 発表・展示された工夫は書籍化予定! どしどしご応募ください!

発表応募締め切り
2/7 金
必着

こんな工夫の発表を待っています



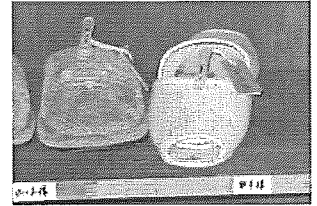
ドアノブにクラフトを飾ることで認知症の方がドアと認識しないようにする



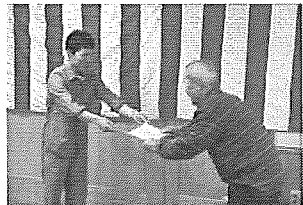
トイレトーパーホルダーの上に赤いテープを貼って認識しやすい工夫をする



体温計にヒモと鈴をつけることで、体温測定中に利用者が体温計の存在を忘れない



スリッパに名札のついた洗濯ばさみをつけ、自分のモノだと認識しやすくする



利用者を表彰することでキャンセル率を減らす



記録のセルフマネジメントで体調を自己管理



肩が上がりにくい人に、自然に肩を上げてもらえるように壁に手形を貼って、レクとして活用する工夫

この他にも

- ・ちょっとした工夫で利用者が使いやすくなる道具の工夫
- ・レクで使う自助具の工夫
- ・安くて簡単に作れる体操器具
- ・デイでの活動が自宅でも継続できる工夫
- ・利用者の作品が家族に喜ばれる工夫
- ・キャンセル率が減る工夫
- ・利用者自らの行動をプログラムに活かす工夫
- ・ケアマネが喜ぶちょっとした工夫 など

募集要項

【募集テーマ】

- ・自助具の工夫
 - ・体操の工夫
 - ・求人の工夫
 - ・活動の工夫
 - ・レクの工夫
 - ・運営の工夫
 - ・プログラムの工夫
 - ・記録の工夫
 - ・情報共有の工夫
 - ・認知症ケアの工夫
 - ・ミーティングの工夫
 - ・人材育成の工夫
- など

介護の工夫に関することならなんでもOKです!

①演題発表

発表形式

パワーポイントを使用した発表
※発表時間10分

発表基準

介護現場でのケアに関する工夫なら何でもOKです

②ポスター発表

発表形式

発表内容をまとめたものをパネル(横120cm×縦180cm)に掲示して発表

発表基準

介護現場でのケアに関する工夫なら何でもOKです

特典

- ①発表者、展示者は参加費が4割引!!
- ②発表いただいた工夫をQOLサービス発行の書籍にて誌面掲載予定!
- ③参加者に投票していただき、各部門で「ケアの工夫マイスター」を選定(賞金あり)!



展示について

発表が苦手な人向けにケアの工夫を展示いたします。また、学会期間中は常時展示いたしますので、自分のペースでケアの工夫をご覧いただくことができます。展示物は当日持参または前もって郵送いただけます。

展示形式

- (1) A3用紙1枚に取り組み前・後の変化が分かる写真をそれぞれ貼付し、違いなどについて説明したもの
- (2) 現場で使用している実際のアイデアグッズ、書類など

その他

- ・参加・不参加にかかわらずご応募いただけます
- ・展示エリアには質問箱を設置しますので、質問があった場合には事務局からご連絡いたします

発表のお申し込みは参加申込と合わせてご応募ください!

講演



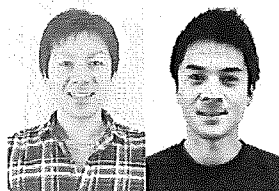
介護環境の工夫について実践と事例を中心にお話しいたします

※内容は変更になる場合がございますことをご了承ください。

1

10:00~11:40

認知症の方を取り巻く物理的環境の工夫



神尾 功雄氏

末永 啓氏

介護福祉士/DCM上級/認知症リーダー研修了

介護福祉士/福祉用具専門相談員

神尾 功雄氏

末永 啓氏

環境づくりを行うことで認知症の方に対するケアの意識やケアの質向上につながります。デイやグループホームなどで実践できる身近な物理環境の工夫の実践例をご紹介します。

〈当日の講演内容〉

- ・ 認知症の方の環境設定について
- ・ 環境設定の視点 (リスクマネジメント・自立支援・安心できる環境)
- ・ 食事の際の机、イスの選択と配置
- ・ 自分から活動できる環境づくり

ほか



利用者の視線や目線・能力に応じた環境の工夫

2

12:30~14:10

利用者が元気になるための環境の工夫

～元気になるための条件とは～



介護環境アドバイザー

山下 総司氏

介護現場では利用者の目線や利用者への視線に配慮した環境づくりが大切になります。この講演では環境を生かしたプログラムづくりの工夫で利用者・スタッフが元気に活動できる環境づくりについてご紹介いただきます。

〈当日の講演内容〉

- ・ 利用者の自主性を引き出す環境づくり
- ・ 職員のやる気を生み出す環境づくり
- ・ お互いが気持ちよく過ごせる環境づくりとは
- ・ プロセスを通して利用者を見ること、気持ちを知ること
- ・ どのように変化していくのかを体験型ワーク

ほか



環境は「人」「施設」を変える!

3

14:20~16:00

車イスの活用とケアの視点 ～知って得するアプローチ・ポイント～



九州保健福祉大学保健科学部 作業療法学科助教授

押川 武志氏

福祉用具の中でも身近で使用頻度の高い「車イスと付属品」を生かしたケアの視点と工夫を中心に、基礎から応用までのアプローチのポイントを実際の症例を通して、ご紹介していただきます。

〈当日の講演内容〉

- ・ 車イスに座るだけで、機能を網羅できるのか?
- ・ 車イスの問題点と対処法
- ・ 車イス活用の視点と工夫
- ・ 福祉用具の活用法と体験
- ・ 実際の症例を通して理解を深める

ほか



見逃しがちな座位姿勢はちょっとした工夫で生活が変わる

実技分科会



指導技術の工夫について参加体験型の実践形式で学びます ※各分科会の定員30名

A

10:00~11:40

小集団体操指導の工夫



健康運動指導士/ふれあい健康教室講師

高見 博子氏

利用者に効率的かつ楽しく継続してもらうための「声掛け」や「指導方法」、「またやりたい」と言ってもらえる雰囲気づくりを実際に体験します。

体験ポイント

- ・緊張をほぐすための声掛けの工夫と指運動
- ・無理なく関節可動域を広げるタオル体操あれこれ
- ・身近なものを使って楽しく体操を続ける工夫
- ・「しっかり声出し一生現役」

ポイント

利用者に習慣化する前にまずは自分に習慣づける

B

12:30~14:10

現場ケア技術向上の工夫 ～朝の「体感教室」の実践とスタッフ育成～



社会福祉法人北丹後福祉社会在宅介護課 課長

稲岡 錠二氏

現場ケアの質向上のために定期的に取り組む朝の体感教室。現場ケア活性化の視点から簡単に取り組めるこの実践はスタッフ教育にもつながります。

体験ポイント

- ・なぜ体感教室を行っているのか
- ・体感教室①「お年寄りの身体」
- ・体感教室②「認知症」
- ・体感教室③「立ち上がり」
- ・体感教室④「手引き」

ポイント

「感じる」ことでいろいろな気づき、気づきからいろいろな工夫が生まれる

ほか

C

14:20~16:00

機能訓練指導の工夫



理学療法士

野田 和美氏

個別機能訓練実施のためのアセスメント・評価・計画作成について分かりやすく解説します。また訓練の効果を上げるトレーニングの指導方法についても体験します。

体験ポイント

- ・アセスメントと評価の工夫
- ・目標の設定について
- ・効果を上げるための工夫
- ・技術面での工夫
- ・道具の工夫

ポイント

利用者がモチベーションを保ち継続できる工夫

ほか

お申し込みにあたっての注意事項

- 参加費の納付をもって正式申し込みとなります。なお、参加費の返金はいたしません。参加者の変更は可能です。
- 各時間帯で興味のある講座へ自由にご参加いただけます。
- 実技分科会④～⑥は先着30名が定員となります。
- 参加費とは別に材料費が必要になる場合は参加証に明記いたします。
- 演題・ポスター発表・展示申込をされた方には別途必要事項記載書を送付いたします。
- お申し込みをいただいた方には、折り返し、FAX・郵送・メールのいずれかでご入金のご案内を送付いたします。(展示にご応募され、当日参加されない方は含まれません)

第1回 ケアの工夫学会参加申し込み・発表・展示申し込み書

FAX **084-948-0641**

該当するものに ○をつけてください		①学会参加のみ ②学会参加と口頭発表 ③学会参加とポスター発表 ④学会参加と展示 ⑤展示のみ		
発表テーマ・展示内容 (発表・展示される方のみ記入)				
ふりがな		ご連絡先 ※下記のどちらかに ○を付けてください (勤務先・自宅)	住所	〒
氏名			TEL	
携帯			FAX	
施設名				
PCメール	※必須			

資料請求・
お問い合わせ

〒721-0902

広島県福山市春日町浦上1205(株)QOLサービス内 ケアの工夫学会事務局

ホームページ http://www.tsuusho.com/care_kufu/

Eメール info@tsuusho.com

ケアの工夫 学会

検索

TEL **084-971-6686**

FAX **084-948-0641**